

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【公開番号】特開2006-298898(P2006-298898A)

【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2005-374977(P2005-374977)

【国際特許分類】

C 0 7 D 209/86 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 209/86 C S P

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/22 D

C 0 9 K 11/06 6 4 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

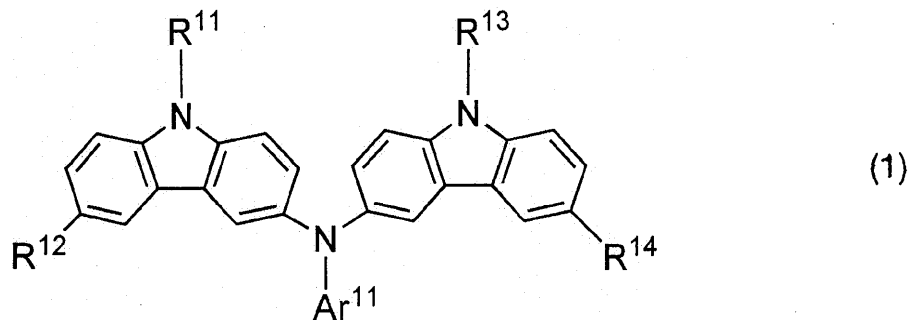
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)で示されるカルバゾール誘導体。

【化1】



(式中、 R^{11} 及び R^{13} は、それぞれ同一でも異なっていてもよく、 n プロピル基、 n ブチル基、 n ヘキシル基、 $i s o$ -プロピル基、 $t e r t$ -ブチル基、フェニル基、4-ピフェニル基、1-ナフチル基、2-ナフチル基、9-アントリル基、9-フェナントリル基、1-ピレニル基、9,9'-ジメチル-2-フルオレニル基、スピロ[9,9']-ビフルオレン-2-イル基、 m -トリル基、 p -トリル基、2-フルオロフェニル基、3-フルオロフェニル基、4-フルオロフェニル基、2-ピリジル基、8-キノリル基、3-キノリル基、ベンジル基、アセチル基、ベンゾイル基、プロピオニル基のいずれかを表し、

$A r^{11}$ は、フェニル基、4-ピフェニル基、1-ナフチル基、2-ナフチル基、9-アントリル基、9-フェナントリル基、1-ピレニル基、9,9'-ジメチル-2-フルオレニル基、スピロ[9,9']-ビフルオレン-2-イル基、 m -トリル基、 p -トリル

基、2-フルオロフェニル基、3-フルオロフェニル基、4-フルオロフェニル基、2
 プリジル基、8 キノリル基、3 キノリル基のいずれかを表し、

R^{12} 及び R^{14} は、それぞれ同一でも異なっていてもよく、*iso*-プロピル基、*tert*-
 ブチル基、フェニル基、4 ビフェニリル基、1 ナフチル基、2 ナフチル基のい
 ずれかを表す。)

【請求項2】

請求項1において、 R^{11} または R^{13} の少なくとも一方は、フェニル基、4 ビフェニリ
 ル基、1 ナフチル基、2 ナフチル基、9 アントリル基、9 フェナントリル基、1
 プレニル基、9, 9' ジメチル 2 フルオレニル基、スピロ 9, 9' ビフルオレ
 ン 2 イル基、*m* トリル基、*p* トリル基、2-フルオロフェニル基、3-フルオ
 ロフェニル基、4-フルオロフェニル基、2 プリジル基、8 キノリル基、3 キノリ
 ル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項3】

請求項1において、 R^{11} 及び R^{13} は、フェニル基、4 ビフェニリル基、1 ナフチル
 基、2 ナフチル基、9 アントリル基、9 フェナントリル基、1 プレニル基、9,
 9' ジメチル 2 フルオレニル基、スピロ 9, 9' ビフルオレ 2 イル基、
m トリル基、*p* トリル基、2-フルオロフェニル基、3-フルオロフェニル基、4-
 フルオロフェニル基、2 プリジル基、8 キノリル基、3 キノリル基であることを特
 徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項4】

請求項1において、 R^{11} 及び R^{13} は、フェニル基、ビフェニル基のいずれかであること
 を特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項5】

請求項1において、 R^{11} 及び R^{13} は、フェニル基、 R^{12} 及び R^{14} は、水素、 Ar^{11} は、
 フェニル基、ナフチル基のいずれかであることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項6】

請求項1において、 R^{11} 及び R^{13} は、ビフェニル基、 R^{12} 及び R^{14} は、水素、 Ar^{11} は
 フェニル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項7】

請求項1において、 R^{11} 及び R^{13} は、フェニル基、 R^{12} 及び R^{14} は、水素、 Ar^{11} は、
 ナフチル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。

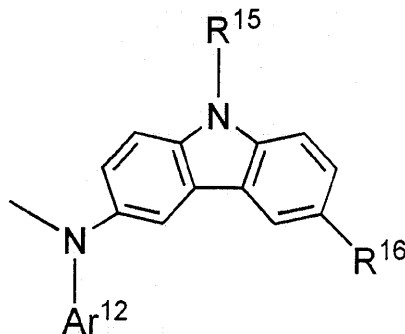
【請求項8】

請求項1において、 R^{11} 及び R^{13} は、フェニル基、 R^{12} 及び R^{14} は、水素、 Ar^{11} は、
 フェニル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項9】

請求項1において、 R^{14} は下記一般式(2)で示されるカルバゾール誘導体。

【化2】



(2)

(式中、 R^{11} 、 R^{13} 及び R^{15} は、それぞれ同一でも異なっていてもよく、*n* プロピル基
 、*n* ブチル基、*n* ヘキシル基、*iso*-プロピル基、*tert*-ブチル基、フェニル

基、4 ビフェニル基、1 ナフチル基、2 ナフチル基、9 アントリル基、9 フェナントリル基、1 ピレニル基、9, 9' ジメチル 2 フルオレニル基、スピロ 9, 9' ビフルオレン 2 イル基、m トリル基、p トリル基、2-フルオロフェニル基、3-フルオロフェニル基、4-フルオロフェニル基、2 ピリジル基、8 キノリル基、3 キノリル基、ベンジル基、アセチル基、ベンゾイル基、プロピオニル基のいずれかを表し、

Ar¹¹及びAr¹²は、それぞれ同一でも異なってもよく、フェニル基、4 ビフェニル基、1 ナフチル基、2 ナフチル基、9 アントリル基、9 フェナントリル基、1 ピレニル基、9, 9' ジメチル 2 フルオレニル基、スピロ 9, 9' ビフルオレン 2 イル基、m トリル基、p トリル基、2-フルオロフェニル基、3-フルオロフェニル基、4-フルオロフェニル基、2 ピリジル基、8 キノリル基、3 キノリル基のいずれかを表し、

R¹²及びR¹⁶は、それぞれ同一でも異なってもよく、iso-プロピル基、tert-ブチル基、フェニル基、4 ビフェニル基、1 ナフチル基、2 ナフチル基のいずれかを表す。)

【請求項10】

請求項9において、R¹¹、R¹³及びR¹⁵は、それぞれ同一でも異なってもよく、フェニル基、4 ビフェニル基、1 ナフチル基、2 ナフチル基、9 アントリル基、9 フェナントリル基、1 ピレニル基、9, 9' ジメチル 2 フルオレニル基、スピロ 9, 9' ビフルオレン 2 イル基、m トリル基、p トリル基、2-フルオロフェニル基、3-フルオロフェニル基、4-フルオロフェニル基、2 ピリジル基、8 キノリル基、3 キノリル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項11】

請求項9において、R¹¹、R¹³及びR¹⁵は、フェニル基、ビフェニル基のいずれかであることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項12】

請求項9において、R¹²、R¹⁶は水素、R¹¹、R¹⁵はフェニル基、R¹³はビフェニル基、Ar¹¹及びAr¹²は、フェニル基、ナフチル基のいずれかであることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項13】

請求項9において、R¹²、R¹⁶は水素、R¹¹、R¹⁵はフェニル基、R¹³はビフェニル基、Ar¹¹及びAr¹²は、ナフチル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。

【請求項14】

請求項9において、R¹²、R¹⁶は水素、R¹¹、R¹⁵、R¹³、Ar¹¹及びAr¹²は、フェニル基であることを特徴とするカルバゾール誘導体。